

みその日本農林規格の制定について



2022年2月7日

農 林 水 産 省

新事業・食品産業部

みその日本農林規格の概要について



現 状

- 海外市場において、みそを模した海外製品が、日本のみそと区分なく販売されており、安価な海外製品との競争を強いられている状況。
- 一方、国際規格であるCodex規格では、日本のみそを含むアジア地域の様々な大豆発酵食品が「発酵大豆ペースト」規格として存在。



規格の概要

- 国内で生産される米みそ、麦みそ、豆みそなどの多様なみそを網羅し、これらについて、我が国独自の伝統的な生産方法（①こうじ菌は「*Aspergillus oryzae*」に限定し、②こうじは「ばらこうじ」又は「豆こうじ」に限定。）を規定。
※海外では*Aspergillus oryzae*以外のこうじ菌を使用し、こうじの性状として「餅こうじ」を使用



効 果

- 日本のみその海外市場における競争力の強化及び海外への輸出拡大に期待。
- JASを足掛かりに国際規格化（ISO）を目指し、みそを模した海外製品を排除。

日本のみその分類



米みそ

大豆
+
ばらこうじ
(米を原料としているもの：米こうじ)
+
食塩

+
砂糖類等

+
風味原料

だし入りみそ

麦みそ

大豆
+
ばらこうじ
(大麦又ははだか麦を原料としているもの：麦こうじ)
+
食塩

+
砂糖類等

+
風味原料

だし入りみそ

豆みそ

豆こうじ
(大豆)
+
食塩

+
砂糖類等

+
風味原料

だし入りみそ

調合みそ

米みそ、麦みそ及び豆みそ 以外のもの

- 米みそ、麦みそ又は豆みそを混合したもの
(製造後に混合したもの (合わせみそ))
- 米こうじに麦こうじ又は豆こうじを混合したもの
(複数のこうじを混ぜたもの)
- 米、大麦、はだか麦及び大豆以外の穀類を
こうじにしたもの
(小麦こうじのみそ、ハト麦こうじのみそなど)

+
砂糖類等

+
風味原料

だし入りみそ

海外のみそ類似製品の表示事例



「みそ」とひらがなで表記

甜面醬
(テンメンジャン)



된장
(テンジャン)

「Miso」とローマ字で表記

【参考】みそ国内生産量（直近5年間）

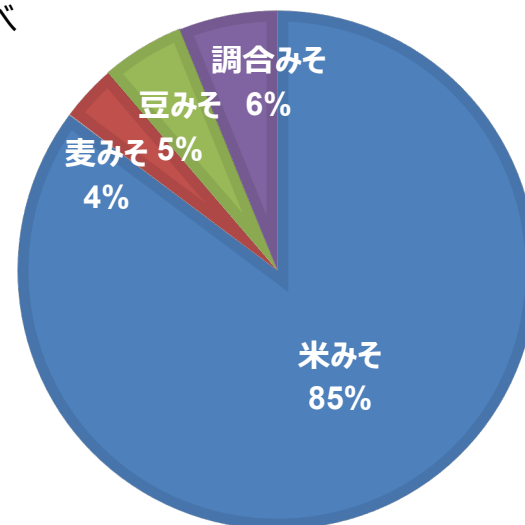


（単位：トン）

	米みそ	麦みそ	豆みそ	調合みそ	合計
2016年	408,695	18,574	23,113	25,675	476,057
2017年	413,492	17,399	24,869	26,285	482,045
2018年	408,093	16,166	25,326	28,483	478,068
2019年	412,038	15,555	26,031	27,950	481,574
2020年	404,717	16,466	24,712	28,805	474,700

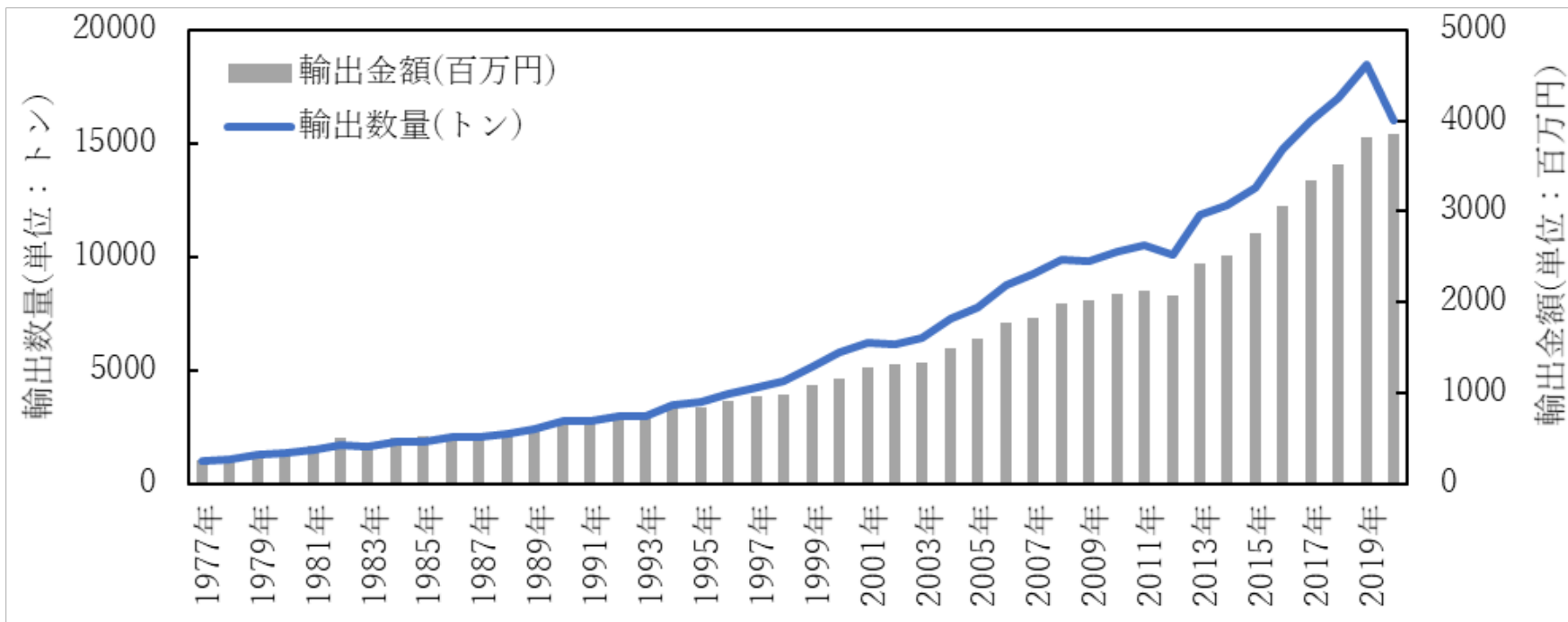
一般社団法人食品需給研究センター 調べ

※ 2016年には47万6,057トンであったが、2020年には47万4,700トンとなり、横ばいか微減傾向。



2020年みそ生産量種類別構成比

【参考】みそ輸出数量・輸出金額



財務省貿易統計

※ 2019年には1万8,444トンにまで伸びたが、2020年は世界的な新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響で1万5,994トンに減少。

※ 2020年の輸出先上位5カ国：米国、中国、韓国、台湾、カナダ